

RPJ News

2018年 7月号

特定非営利活動法人(NPO法人)

精神保健福祉交流促進協会 Refresh Project

〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋2-17-7-801

毎月1回発行 E-mail ref-pj@mx5.ttcn.ne.jp

発行責任者：志井田美幸/ 長野敏宏/ 仁木守

連絡先 090-1811-7119

ホームページ <http://www2.ttcn.ne.jp/ref-pj/>

内 容

- * 仁木美知子女史を偲んで
島根県 社会福祉法人亀の子 総括施設長 森山 登美子
- * 第8回脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会
しまね縁結び大会を終えて
実行委員 エスポアール出雲クリニック 高尾 由美子
- * 日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会
盛会に終わりました
エスポアール出雲クリニック 高尾 守正
- * 事務局からのお知らせ

【はじめに】

実行委員として今月は出雲が担当です。6月9日、突然仁木美知子さんの訃報を聞き愕然としました。皆さん同じ気持ちだったと思います。葬儀に参加させていただきましたが、今もなお信じられないのが現状です。仁木守さんの葬儀挨拶にありましたが、今後の協会の活動について故人の思いを繋いでほしいと言われました。この15年間に500人の人々を国内外の研修に繋がれたようです。仁木さん御夫婦がおられたからこそ継続できたことでもありますが、協会のこれからは、亡き美知子さんの思いを守さんも一緒に私たち会員同志、さらに世代を超えて引き繋いでいけたらと思います。

今回出雲からの報告は、亀の子の森山登美子さんから追悼原稿、7月に山雲で開催された日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会報告を高尾がお伝えしたいと思います。(実行委員 高尾由美子)

* 仁木美知子女史を偲んで

島根県 社会福祉法人亀の子

総括施設長 森山 登美子

仁木美知子さんの訃報の知らせを受け取り、耳を疑いました。

2013年4月に谷中輝雄先生の偲ぶ会を済ませて、まだ間もない年月ですが、私の頭は混乱の極みでした。2002年にこの精神保健福祉交流促進会を谷中先生と立ち上げられ、2004年には夫の仁木守さんも協力され共に活動され、海外セミナー、国内リフレッシュセミナーを、谷中輝雄先生と共に精力的にご尽力いただいていたのに、何故に、世は無常だと理解していても。私は葬儀に行かれた山雲の高尾さんから、その詳細を伺うことができました。もう10年前から患っておられ治療をされていたとか。それも夫の守さんだけにお話をなさっていたとか。それを伺い、彼女の覚悟のほどが見えるようで、何ともやるせない思いでいっぱいになりました。私は谷中先生の偲ぶ会で頂いた「クレマチスの花」(撮影：谷中輝雄)のポスト

カードを持っています。その花言葉が精神的な美しさであった。まさに彼女だったような気がしました。そう思うことで、私は彼女の冥福を祈ろうと、心に決めることにしました。すると、彼女との出会いが、綺羅星のように浮かんでいきます。彼女との出会いはやどかりの里の援護寮が出来たころのことです。私が初めて、やどかりの里を見学し学ぼうと必死だった頃のことです。援護寮で仁木さんが夕食作りのスタッフさんでした。私はお手伝いをさせてもらい、メンバーと語りました。この時に、地方のメンバーも大宮のメンバーも一緒なんだなあ、妙に安心しました。

その後、海外セミナーのイタリアの精神保健視察ツアーにご一緒させて頂き、仲睦まじいご夫婦と意気投合し孫自慢に花を咲かせました。イタリアでのアレツォ旧精神病院跡地や、精神保健局でのメンバー達の絵画は素晴らしく、私は彼女に「これも、あれも、それも撮ってね」と注文していました。その絵がアルバムに収められています。ベネチアでは、街角に金色の銅像がパントマイムをしていました。私が大きな声で、「これは、日本では 5 円と言ってね。人と人が出会うようにと『ご縁』を結ぶ意味があるのよ」と、5 円を投げ入れたのです。すると、「NO！NO！」と、スティックで取り除こうとします。それを聞いていた、現地のイタリア人の方が、「懐かしい！私は神戸にいたのよ。」と、話題沸騰でした。それも写真に納まっています。

思い出は走馬灯のように、私の脳裏を駆け巡ります。

谷中輝雄先生と仁木美知子さんは私の道標であり、この道標があったればこそと、大いなる恩恵に感謝申し上げます。

「人は生きてきたように死んでいく」という言葉通りに凜とした彼女の生きざまに、ご冥福をお祈り申し上げます。

会者定離 合掌

* 第 8 回脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会

しまね縁結び大会を終えて

実行委員 エスポアール出雲クリニック 高尾 由美子

第 1 回の脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会を島根で開催して以来 2 度目の開催でした。出雲で開催ということで出雲大社の“縁結び”にちなんで「縁、再び・・・そして愛」とサブテーマと決め、昨年 9 月に準備委員会が立ち上がり、月一回の実行委員会を重ねながら、不安の中で開催当日となりました。ちょうど中国地方中心に豪雨災害があったのですが、副大会長の祝部(ほうり)英明さんのお人柄の素晴らしさが集客に繋がったのでしょうか。予想以上に約 220 名の方が、全国から参加いただきました。脳出血を発症されて 5 年、失語症、右半身マヒの障害が残る中でカメラを手に散歩しながら写真を facebook にアップ、その写真の素晴



らしさ、感性の良さもあったのでしょ！「副大会長の祝部さんに会いに来た」という方が多かったこと・・・学会自体のプログラムも当事者発表が多かったので共感、発見、気づきと内容の濃い学会となりました。私はプレ企画の「ボッチャ」担当、学会初日は体験コーナーを担当しました。

プレ企画には、横浜ラポールからスタッフ、当事者の方、地元の複数の施設から参加がありボランティアスタッフも含め、約50人程度の人と「ボッチャ」「卓球」で交流しました。車いすの方が、初めて卓球に挑戦され、「楽しかった！」と言われたのは感動でした。車いすでは卓球は出来ないと暗黙の裡に決めつけていたとスタッフも語っていました。そんな中での『自分の障害を強みに代えて』で体験報告されたお一人、お一人の思いは会場を感動の渦でわかれました。ポスター発表では、横浜から方麻痺の方が「旅リハ」の発表をされました。「旅」をすることで、事前に予定を立てる、泊るところの手配をする、行動しながら良かったこと、困ったことを自分で気が付くこと、改善する事、改善してほしいこと等発表されました。とかく障害があると外出しにくい、無理と決めつけてしまいがちですが、今回は方麻痺の当事者の参加が多かったと思いました。私たちが逆に元気ももらったような気がします。当事者、支援者の垣根が低くなったという感想があちこちから聞こえました。最近ピアの声を聴く機会は増えました。その声をどう感じ取るかは受けて側の感性、受け手の質を問われることではないかと思いました。自分の今を振り返りながら、共に前進したいと感じた学会でした。来年は横浜が開催県となっています。関心のある方にお勧めの学会です。



祝部(ほうり)英明さんのポストカード

* 日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会

盛會に終わりました

エスポアール出雲クリニック 高尾 守正

当地出雲で、日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会の開催は2度目でした。院長が大会長ということもあり事務局を持たせていただきました。8年前の第1回の開催時は、初回ということで本部とのやり取りや、実行委員会の内容も今よりキメ細かいものだったように記憶しています。今回は開催目前に、会場の再確認や人の手配などに奔走しました。世代交代もあって、自分がどこまでやるべきか！どこまでやれるのか！と悩みながら、事務長のフォローするように努めました。また前回と違って、資金の調達についてはクリニックに関わって下さっている多方面の方々、もちろん病院、クリニック、脳外傷の家族の方々、よく利用する居酒屋などあらゆる方面の方々の協賛をいただきました。皆さんに快く支援していただけたことに感謝する次第です。事前申し込み人数に多少の不安がありましたが、当日参加希望の人が2日間で70人もおられたので不安は吹っ飛び、有難かったです。

裏方仕事ではありましたが、今回も出雲の人の繋がりを実感したことと、急きょ、当院のスタッフが受付などのボランティアを引き受けてくれたこともうれしく思いました。皆で、橙色のTシャツで団結できたことは思い出となりました。

* 事務局からのお知らせ

西日本豪雨 ～愛媛県愛南町より～

実行委員 中野 良治

皆さんご存知の通り、先般の豪雨により西日本各地で甚大な被害が発生しました。愛媛県でも被害の大きかった大洲市・西予市・宇和島市の他、報道には出ていない市町でも川の氾濫、土砂崩れ等で広範囲に渡り被害が出ました。愛南町でも床上・床下浸水の地区もありましたが、人的被害がなかったことは幸いです。このような中、協会関係者や全国の様々な団体から迅速にご支援をいただけたことで、断水が継続している宇和島市吉田町・三間町の高齢者施設を中心に愛南町から生活用水を届ける支援を始めています。（愛南漁協の協力で3t活魚車と地元水産会社3t活魚車が毎日約30t配水に走ってくれています。）

ご支援くださっている協会関係者の皆様、本当にありがとうございます。被災された方々が日常を取り戻すにはまだまだ先が見えない状況です。また無理な願いをするかもしれませんが引き続きお願い申し上げます。これを書いている今、台風12号が中国地方へ来ています。とにかく大雨による二次被害が起こらないことを祈るばかりです。



—編集後記— 6月28日から7月8日頃にかけて西日本を中心に集中豪雨が発生し、広島・岡山・愛媛県や九州・山陰地方に甚大な被害が発生しました。そうこうしているうちに今度は40度越えが頻発し、熊谷では41.1度という過去最高気温を記録、岐阜や京都などでも39度から40度を連日記録するなど異常気象が続いております。また週末には台風が東海から中部に上陸とのことで、こちらの被害も心配です。各地の皆さま日々の活動に障害が出ているところもあろうかと思いますが、活動の継続を期待しております。またご自愛ください。（Mamoru Niki）

特定非営利活動法人 精神保健福祉交流促進協会 TEL090-1811-7119